

「新人目線」の用語解説

語句よみ

第227号



今回のテーマ 11月に迫った、世界が注目する米国大統領選挙

世界が注目する米国大統領選挙の投開票日(11月3日)が迫っています。今回は米国大統領選挙と、有権者へ大きな影響を与えるとされる大統領候補者討論会について調べてみました。

日興アセットマネジメントの新人。営業推進部門に配属され、投信や経済について勉強中。

1. 米国大統領選挙

世界最大の経済大国である米国のこの先4年間のトップを決める大統領選挙が11月に迫っています。大統領選挙の投票を行なう本選挙は、11月の第1月曜日の属する週の火曜日に実施されることとなり、今回は11月3日となります。

大統領選挙は、①党員集会・予備選挙、②全国党大会の2つのステップを経て本選挙が行なわれるため、実際は同じ年の2月頃から半年以上の期間にわたって選挙戦が繰り広げられます。

①党員集会・予備選挙は、共和・民主両党の候補者を決める投票に参加する代議員を選出するものとなっており、全米50州などで話し合いや投票が行なわれます。そして②全国党大会では、①で選出された代議員による投票が行なわれ、過半数の支持を得た候補者が各党の正式な大統領候補に指名されます。そして、その候補者が副大統領候補を指名して、本選挙に臨みます。本選挙では間接選挙制が採用されているため、一般有権者は投票を行ないませんが、その投票は、事前に投票する候補者を誓約した選挙人と呼ばれる各州の代表を選出するものとなっており、最終的には選出された選挙人の投票によって大統領が決定されることになります。

ステップアップ

米国大統領の任期は1期4年で連続2期(計8年間)までと決まっています。なお、日本の首相任期は定められていませんが、自民党総裁の任期が1期3年で連続3期(計9年)までとなっており、実質的にこれが首相の任期となっています。ただし、菅首相は安倍前首相の任期を引き継ぐため、2021年9月末までの任期となっています。

(次のページへ続きます)

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

今回の大統領選挙では、現職の共和党トランプ氏と民主党バイデン氏がそれぞれ候補者に指名され、本選挙に向けて熱戦を繰り広げています。通常は投開票日の翌日には結果が概ね判明することになりますが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、郵便投票の増加が予想されることから、結果判明には時間を要する可能性があります。前回2016年の大統領選挙では、事前予想に反してトランプ氏が勝利しており、結果が判明するまでは予断を許しません。

2. 大統領候補者討論会

大統領候補者討論会とは、共和・民主両党の候補者が大統領選挙の投開票日までに、重要なテーマなどについて計3回テレビで行なわれる討論会のことです。各回は視聴者が最も集まるとされる米東部時間の21時から90分間で行なわれ、演説型やタウンホール型など毎回異なる形式で開催されています。有権者に直接政策を訴えられる貴重な機会となっており、候補者の発言だけでなく、身振りや手振り、相手候補者が発言している際の表情や反応などにも関心が集まります。実際に、1960年に初めて実施されたテレビ討論会では、ケネディ氏の顔色や若々しさが勝利に繋がったと言われています。

9月29日に行なわれた1回目の討論会では、足元の支持率でバイデン氏に劣るトランプ氏は流れを変えることをめざし、新型コロナウイルス感染拡大への対応や経済政策など6つのテーマについて討論を繰り広げました。米メディアによる調査では、バイデン氏有利との見方が多いようですが、前例のない非難合戦に終始したことから、討論会の最大の敗者は米国民だとの意見が出るなど、有権者の投票行動への影響は限定的だったとの見方もあります。その後、トランプ氏が新型コロナウイルスに感染したことを受け、現政権による危機管理の甘さを指摘する声があるなど、選挙結果への影響は避けられないとみられています。残り2回の討論会は10月15日と22日に行なわれる予定となっていました。2回目については、開催形式などについて双方の対立もあり、中止が発表されました。既にどちらに投票するかを決めている有権者も多いとの見方もあるため、22日に行なわれる予定の討論会が投票にどの程度の影響を与えるのか注目が高まっています。

2021年1月の就任式という晴れ舞台には、どちらの候補者が次期大統領として立っているのか、米国のトップを決める大統領選挙の今後の動向に注目が集まります。

半年以上の期間をかけて決定する米国大統領ですが、就任後には感染拡大への対応や米中問題など様々な課題が待ち受けていることから、就任後の動向からも目が離せません。

ステップアップ

討論会は副大統領候補者同士でも行なわれ、10月7日に実施されました。今回はトランプ氏の新型ウイルス感染を受けて、大統領が職務継続不能となった場合、副大統領に権限が委譲されるため、これまでに以上に注目を集めました。新型コロナウイルス感染拡大への対応などが討論され、その後の調査では、民主党ハリス氏が優勢という見方が多いようです。



facebook twitter で、経済、投資の最新情報をお届けしています。

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、価値のある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。